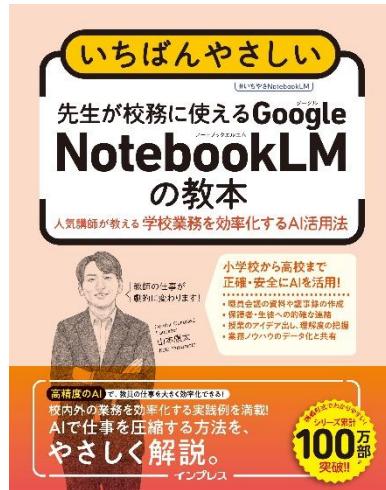


各 位

2026年1月22日
株式会社インプレス

学校業務の時短を「正確なAI」で実現！
『いちばんやさしい 先生が校務に使える Google NotebookLM の教本
人気講師が教える学校業務を効率化する AI 活用法』を1月22日に発売
発売を記念して全文無料公開キャンペーンも実施！

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、Google NotebookLMを学校現場で活用する方法を具体的に紹介した『いちばんやさしい 先生が校務に使える Google NotebookLM の教本 人気講師が教える学校業務を効率化する AI 活用法』を2026年1月22日（木）に発売いたします。



■「不安のないAI」Google NotebookLMで教員の負担を軽減する

教育現場ではDX化が進む一方、生成AIが事実と異なる回答をする「ハルシネーション（嘘）」や、機密情報の扱いに慎重な声も多く聞かれます。Google NotebookLMは、ユーザーが指定した資料（ソース）を根拠に回答を生成するため、他のAIと比べて矛盾や誤答が少ないとされています。本書は、このような特徴を持つNotebookLMを活用することで、正確性が求められる「校務」を劇的に効率化するノウハウを凝縮した、初の教員向けNotebookLM解説書です。

■本書の3つの特徴

1. 「嘘をつかないAI」で時短を実現

NotebookLMの基本操作から、実務に活かす方法まで詳しく紹介。著作権や個人情報への配慮など、教育現場で必須となる運用ルールについても丁寧に触っています。

2. 現場のリアルな活用事例を掲載

小学校から高校まで、現役教員である著者が実証済みの事例を掲載。職員会議の議事録作成、保護者向けの通知文案、進路指導の資料集約など、多彩なシーンで活用できます。

3. 無料サンプルで即座に体験できる

紙面で使用しているプロンプトや、NotebookLM に使えるソースのテンプレートをダウンロード可能。無料の Google アカウントがあれば、すぐに業務効率化を体験できます。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・ NotebookLM を活用した働き方改革や授業づくりに興味・関心のある教師
- ・ 管理職、教育委員会研修担当者
- ・ Google for Education を導入している学校の教員
- ・ 生成 AI を様々な校務で活用したいと考える学校関係者

■紙面イメージ

Lesson 17 [マニュアルをまとめる] 行事マニュアルを統合しよう

このレッスンでは、運動会や合唱コンクールなどの行事に関する様々な書類をひとつノートブックとして統合すること、校務改善につなげるアイデアを紹介します。複数のソースをアップロードして、必要な情報を取り出す方法について学びましょう。

あらゆる情報を素早く取り出せる

このLessonの目的

●用意する資料 行事に関する実施要項、準備日程表、職員係仕事分担など

●希望する回答／生成物 行事の準備に関する質問への回答、特定の仕事に関する内容整理

●注意点 児童・生徒の氏名などの個人情報をアップロードしないようにする

●おすすめの機能 生成された回答をメモに保存し、ソースに変換する

050

】資料を用意する

このレッスンでは、「行事マニュアルを統合しよう.pdf」の4つのファイルをソースとして解説を進めます。内容はそれぞれ、「運動会実施要項」「運動会プログラム」「各委員指派表」「当日チェックリスト」となります。これらをNotebookLMにアップロードして、運動会に関する質問に回答してもらいます。実際の資料を使う場合は、他にも運動会に関する資料があれば追加しましょう。

運動会に関する資料をすべてアップロードする

】プロンプトのコツ

1つの行事に様々な書類が存在する場合、どのような観点で整理してほしいのかを明確にしましょう。NotebookLMはアップロードした資料を機能的に検証してくれるため、優先したいことを具体的に述べると効果的に活用することができます。また、より良い行事にするための改善点などを尋ねても良いです。

051

基本操作から詳しく解説

Lesson 02 [ノートブックを作る] 新しいノートブックを作ろう

NotebookLMはノートブックを作成して自分専用の秘書のように使えることが魅力です。このレッスンでは、実際にNotebookLMでノートブックを作成する方法について紹介します。自分専用のノートブックを作りましょう。

】NotebookLMの利用を開始する

NotebookLMの利用を開始するためには、以下のようにGoogle Chromeを起動して、[Googleアプリ]からアクセスします。または公式サイト (<https://notebooklm.google.com/>) にアクセスするか、Webブラウザで「NotebookLM」を検索してGoogleの公式ページを見つけることができます。

】NotebookLMを起動する

Google Chromeを起動しておきます。
1 [Googleアプリ]をクリックします。
2 [NotebookLM]をクリックします。

】ソースをアップロードする

NotebookLMへようこそ

1 [ノートブックを新規作成]をクリックします。

2 [ソースをアップロード]をクリックします。

207ページを参考にソース用ファイルをダブルクリックして開いておき、その場所を表示します。

3 「教育課題.pdf」をクリックします。

4 [閉く]をクリックします。

014

NEXT PAGE → 015

■【4日間限定】本書の発売を記念して全文を無料公開！

本書の発売を記念して、自社開発の「インプレス Web ブックビューアー」にて、本書の全ページを期間限定で無料公開いたします。

<全文無料公開キャンペーン特設ページ>

<https://book.impress.co.jp/items/cp260122>

キャンペーン実施期間：2026年1月22日（木）0:00～2026年1月25日（日）23:59まで

書籍内容の提供には、自社開発の「インプレス Web ブックビューアー」を使用します。Web ブラウザで紙面を閲覧できるので、場所や時間を選ばずに PC やスマートフォンなどから登録不要で利用できます。また、SNS で書籍の情報を共有したり、書籍の購入や詳細を確認したりできる機能も備えています。

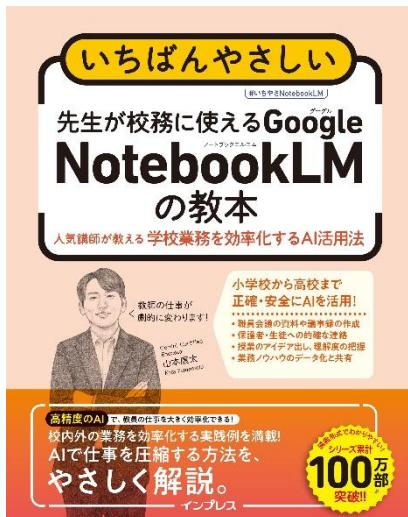
The screenshot shows the 'InPress Web Book Viewer' interface. On the left, Chapter 5 of Lesson 25 is displayed, titled 'アンケート結果を過去の結果と比較しよう'. It includes a portrait of a person, a summary of the lesson, and two sections: '》比較・分析の手間を大幅に減らす' and '》このLessonの目的'. The right panel shows a comparison of survey results from previous years, with two tables side-by-side. Below the main content are navigation buttons (back, forward, search, etc.) and social sharing icons for Facebook and X.

全ページを無料で閲覧できる

■本書の構成

- Chapter1 NotebookLM を使ってみよう
- Chapter2 NotebookLM の便利な機能を使おう
- Chapter3 校務に関する資料をまとめよう
- Chapter4 職員会議の準備や議事録作成を時短しよう
- Chapter5 学校評価や研修を効率化しよう
- Chapter6 公文書や報告書を正確に作成しよう
- Chapter7 保護者・生徒への対応を円滑に行おう
- Chapter8 授業案や教材づくりを AI で時短しよう
- Chapter9 過去問の分析やテスト問題を作成しよう
- Chapter10 生徒と一緒に NotebookLM を活用しよう

■書誌情報



書名：いちばんやさしい 先生が校務に使える Google NotebookLM の教本 人気講師が教える学校業務を効率化する AI 活用法

著者：山本康太

発売日：2026年1月22日（木）

ページ数：208ページ

サイズ：B5 変形判

定価：1,980円（本体1,800円+税10%）

電子版価格：1,980円（本体1,800円+税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02365-4

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295023655>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1125101113>

■著者プロフィール

山本康太（やまもと・こうた）

東京都公立中学校主任教諭。早稲田大学教育学部英語英文学科卒業後、2013年より西東京市、文京区、練馬区等にて勤務。日頃よりICTや生成AIを活用した授業実践を積極的に行っており、一般社団法人HelloWorld IntEx Lab フェロー、文部科学省委託事業英語教育推進リーダー（LEEP）、マイクロソフト認定教育イノベーター（MIEE）、ミライシードDXエデュケーター、WorldClassroom Innovative Educatorなどを務める。WorldClassroomを活用した英語科の授業実践で文京区教育研究奨励事業丹羽教育研究奨励賞受賞。これまでにアントレプレナーシップ教育やオンライン国際交流などの先進的な教育活動を実施し、教育新聞社より取材を受ける。著書に『英語教師・学習者のための生成AI「超」活用術』『生成AIとデザインする！情報活用型プロジェクト学習ガイドブック3.0』（共著）がある。

■シリーズ累計100万部突破！ いちばんやさしい教本シリーズ

「いちばんやさしい教本」シリーズは累計100万部を突破しました。難しい内容でも初学者が挫折しないよう丁寧に解説し、第一人者のセミナーを受けているかのようなわかりやすく実践的な内容で、「絶対に挫折しない」がコンセプトのシリーズです。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計8,000万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watchシリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向けIT関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塙本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問合せください。